



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 415

Februar

2026

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

シュレースヴィヒ・ホルシュタイン独日協会会長の来神

神戸日独協会と協力協定を結んでいるシュレースヴィヒ・ホルシュタイン独日協会会長の Jens Neumann-Rodekirch 氏が3月10日に5日間の予定でご子息と共に来神されます。

協会では同会長の歓迎会を下記のように開催します。またご滞在中は会員によって兵庫県内をご案内したいと思います。

同独日協会とは30年に及ぶ交流があり、2017年の兵庫県とシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州友好提携20周年の際に、両協会間の友好関係を将来的にさらに発展させるために協力協力を締結しています。コロナ禍などで交流は一時停滞しましたが、同会長の神戸訪問を機に再び交流の活性化することを願っています。是非とも同会長と御交流ください。

Jens Neumann-Rodekirch 会長歓迎会

日 時: 2026年3月13日(金)18:30~20:30

会 場: ステーキ&ビアレストラン ロイン 三宮店 (神戸国際会館南前のビル地下1階)

神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1、078-242-3611

会 費: 6000円 (料理・飲み放題込み 着席buffet形式)

申 込: 事前予約制。3月11日までに事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス (078-230-8150)で。

名所案内のお願い

3月13日(金)午前・午後神戸市内へ、3月14日(土)姫路城へのご案内を予定しています。ご一緒に案内していただける方は、協会事務局にお申し出ください。予定箇所は追ってお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

「早春の遠足」兼「ワインアーベント」

会報前号にてご案内しましたように、3月開催の第3回「ワインアーベント」は参加者の発案で日時と会場を変更して龍野市内の会員 Nitz さんのお店“Café Berlin”で開催します。

3月下旬は桜の開花が予想されていますので、恒例の「会員親睦遠足」を兼ねて開催することになりました。

たつの市は姫路市から西に約13km に位置し、市の中心部龍野町は龍野藩5万3千石の城下町で今でも武家屋敷や白壁の土蔵が残っており、「播磨の小京都」と呼ばれています。地場産業として古くから醤油、素麺、皮革の生産が盛んで全国的な知名度があります。

当日の散策については、下記の会員玉田龍太郎さん(龍野ご出身)のご案内をご覧ください。

遠足とワインアーベントを兼ねてのイベントですので、散策の途中で「ランチ&ワインアーベント」を開催します。ワインを楽しみたい方のみならず、Nitz さんご夫妻とご歓談したい方も是非ともご参加ください。

久しぶりの郊外への遠足です。ご家族やお友達をお誘いの上、奮ってご参加ください。

日 時：2026年3月29日(日)12:00～19:00

集合：12:00 JR姫路駅中央改札口 解散：19:00 JR 姫路駅

散策地：下記「玉田氏ご案内」を参照

ランチ&ワインアーベント：

会 場：Café Berlin (たつの市龍野町)

時 間：14:00～15:30

会 費：4000円 (ワイン代+スナック代)

ワインを飲まない方は2500円(飲物+スナック代)

申 込：事前申込制。3月27日まで

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

Spaziergang durch die Burgstadt Tatsuno -龍野城下町散策-

会員 玉田龍太郎

本企画では、正午に JR 姫路駅中央改札口に集合し、姫新線で本竜野入りします。13時までには JR 本竜野駅を出発し、龍野城下町を徒歩で巡る散策を行います。龍野は、醤油醸造で発展した城下町として知られ、現在も白壁や格子戸の町家が往時の面影を色濃く残しています。駅から城下町方面へ向かい、落ち着いた町並みの中を進みながら、まずは地域の歴史と文化に触れていただきます。うすくち龍野醤油資料館(入館料 10 円)では、龍野の食文化の背景を学び、如来寺や醤油の郷大正ロマン館周辺では、文学や近代文化と結びついた城下町の魅力を感じていただけます。これらの見学は徒歩圏内にまとまっており、無理のない行程です。14時からは、本竜野駅近くの「カフェ・ベルリン」にてランチ&ワインアーベントの会を行います。散策の途中でゆっくりと休憩を取り、参加者同士の交流を深めながら、午後の行程に備えます。15時以降は再び徒歩にて城山方面へ向かい、龍野城址(無料)を見学します。復元された城郭や石垣からは、かつてこの地

を治めた脇坂氏の歴史をうかがうことができます。続いて旧脇坂屋敷を訪ね、武家屋敷の佇まいや庭園を鑑賞します。さらに聚遠亭まで足を延ばし、城下町を一望する眺望を楽しみます。ここからは、龍野の町並みと周囲の自然が織りなす景観を堪能でき、本散策の見どころの一つとなっています。16時半頃からは城下町へ戻り、自由散策および土産購入の時間とします。地元ならではの醤油や名産品に触れながら、龍野の余韻をお楽しみください。17時半頃に本竜野駅へ向かい、遅くとも19時には姫路にて解散の予定です。歴史、文化、食をバランスよく味わえる、午後半日の龍野城下町散策となっております。

(訪問先については、天候など状況に応じて臨機応変に対応させていただきます)

全国日独協会連合会副会長会議報告

神戸日独協会会長 枘田義一

2月27日に全国日独協会連合会副会長会議がオンラインで開催されました。4月16日開催予定の2026年度全国日独協会連合会年次総会の議題整理と承認が行われました。議題等については総会後にご報告いたします。副会長会議は全国からの9協会で構成されていますので、議題審議の前に参加協会による近況報告が行われました。これらの報告では、若者の協会参加とドイツ語講座の活性化が、特に首都圏において、注目され、若者会員の活動支援について意見交換があり、協会内の大学等との連携により若者との共同による活性化が大変参考になりました。弊協会ではこの数年若者の参加とドイツ語講座の受講生の激減による低迷が続いています。コロナ禍による社会変容やIT技術の急速な発達などによる民間団体の一般的傾向とあきらめにも似た境地に陥っていました。各地の日独協会の活動を参考にして、新年度からの弊協会の活性化に努めていきます。会員皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。1000字程度(字数を厳守)のMSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください(今月は休載します)。

ドイツ文化教室

バウエルン・マーレイ教室再開

講師の病氣療養のため休講していましたが、一月より再開いたしました。

日本語に訳せばバウエルンとは「田舎風」で、マーレイとは「絵」を意味します。ドイツでは中世から庶民の生活に密着したクラフトとして楽しまれてきました。落ち着いた色調で図案化されたヨーロッパの美しい花々を木地に写し、手本を見ながらアクリル絵の具で絵付けをしていきます。初めて

の方も安心して参加できます。

講 師：ドイツ バウエルン・マーレイ認定講師 鈴木芳子先生

日 時：3月18日

(原則第3水曜日10:30～15:00)(昼30分休憩あり)

持ち物：使い捨てのタオル(小)・エプロン

参加費(税込)：15500円(一般・会員とも)

他に材料費実費(画材代金・筆など)

絵具は1回のレッスン800円で自由に使用可

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

3月の曲目は、Oh, bist du wie schön、Der fröhliche Wanderer (愉快地に歩けば)、So ein Tag, so wunderschön wie heute を歌います。

講 師：岩島 佳子さん

日 時：3月7日(土) 13:30～15:00

場 所：神戸日独協会教室

参 加 費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。

講 師：堀田真美子さん

日 時：3月22日(日)14:00～16:00

場 所：神戸日独協会教室

会 費：1500円 (材料費+お茶代)

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込：3月19日(木)まで

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

第255回ドイツ語談話室

日 時 : 2026年1月17日(土) 14:00~16:00

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : お正月の過ごし方、今と昔

今回の司会は、川見正之氏が担当され、テーマのお正月の過ごし方について、今と昔(50年位前)の対比で振り返って見られた。買い物について、現在はスーパーやコンビニで正月からオープンしているが、昔は正月3が日は閉まっていたものだ。今おせち料理は売っているものだが、昔はどこの家でも自宅で作ったものだ。子供の遊びも、昔は凧揚げ、羽根つき、コマ廻し、家族でのカルタ・双六だったが、今は個人でスマホやタブレットを使って Youtube や Netflix で楽しんでいる。お正月の年賀状はお互いのつながり確かめ合っていたものだが、今は line やソーシャルメディアを使った挨拶が主流となってきた。

次に、参加者の皆さんの、お正月の過ごし方の話を下記する。

—餅つきやおせち作りは、正月を迎える風物詩だったが、今やどこでも買うものとなってしまった。

—正月一日と二日の箱根駅伝は、今も変わらず毎年正月の定例行事で、楽しんで聴いている。

—初詣は近くの神社に毎年行くが、お参りの行列が長く、いつも長時間かかる。

—年頭の三つの誓いに、毎日、10人の人と会う、善い行いをする、人のお手伝いをする、を実行すること、がある。

—おせち料理には、節季ごとに日本の旬のものがすべて入っている、と言われる。

—昔は、親族全員がお里に集まってお正月を共に過ごしたが、今は核家族となり、核家族ごとのお正月を過ごす。

—普段は忙しくしていて、お正月だけが本当のお休みである。

—大みそかの花火大会は素晴らしく、楽しみの一つだ。

—お正月には1週間のスキー旅行を楽しんだものだ。

—ドイツでは、お正月の1週間は静かに過ごす。

—お正月の定例行事は、初日の出を見る事と、初詣をする事である。

—昔のお正月風景は、着物を着て草履履きで正装し、初詣をした後親類が集まって、おせちを頂きお正月を祝ったものだった。こうした風景はほとんど消えてしまった。

今後のドイツ語談話室の予定:

第257回 2026年3月21日(土) テーマ : 夢と希望

Protokoll der 255. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit : Samstag, 17. Januar 2026, 14 bis 16 Uhr

Thema : Wie verbringt man heutzutage das Neujahrsfest ? Wie war es früher ?

Dieses Mal führte Herr Masayuki Kawami durch das Gespräch und berichtete von das

Thema. Für den Einkauf, heute fast alle Kaufhäuser und Supermärkte sind von Neujahrstage geöffnete, aber früher waren alle Kaufhäuser und Supermärkte bis zum dritten Januar geschlossen. Früher kochte man die neujahrs Küche, „Osechi“, alle zu Hause, aber heute kann man die Küche kaufen. Früher spielten Kinder an Neujahrstage mit Papierdrachen, Federbälle, Kreisspiele, oder spielten Karten, Puffspiele mit der Familien. Heute spielen Kinder mit „Youtube“ oder „Netflix“. Das Tauschen der Neujahrskarten war eine Tradition, aber heute viele Leute begrüßen mit „line“ oder „SNS“.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema :

-Früher gehörten das Stampfen von Reiskuchen und die Zubereitung von „Osechi“ zu den traditionellen Neujahrsbräuchen in jedem Haushalt, heute kann man sie überall kaufen.

-Der Staffellauf, Hakone Ekiden, der am 1. und 2. Januar stattfindet, ist immer noch eine feste Neujahrsveranstaltung und ein Teilnehmer hört ihn gerne im Radio an.

-Jedes Jahr besucht ein anderer Teilnehmer als erstes im Jahr einen nahegelegenden Schrein, aber die Schlange zum Beten ist immer lang und es dauert immer sehr lang.

-Zu den drei Neujahrsvorsätzen gehören, jeden Tag 10 Menschen zu treffen, eine gute Tat zu vollbringen und anderen zu helfen.

-Man sagt, die Osechi-Küche enthalten alle saisonalen Zutaten Japans für jede Jahreszeiten.

-Früher versammelten sich alle Verwandten in ihrem Heimatorten, um Neujahr gemeinsam zu verbringen, aber jetzt, wo wir in Kernfamilien leben, verbringen wir Neujahr nur noch als Kernfamilien.

-Ein noch anderer Teilnehmer ist normalerweise sehr beschäftigt, und Neujahr ist der einzige wirkliche freie Tag, den er hat.

-Das Silvesterfeuerwerk ist wunderbar und eines der Dinge, auf die man sich freuen kann.

-Ein noch anderer Teilnehmer genießt einen einwöchigen Skiurlaub über die Neujahrsferientage.

-In Deutschland ist die Neujahrswochen eine ruhige Woche.

-Zu den traditionellen Neujahrsbräuchen gehören das Beobachten des ersten Sonnenaufgangs des Jahres und der erste Besuch eines Schreins.

-Früher gehörten Neujahrsbräuche dazu, dass die Menschen Kimonos und Sandalen trugen, zum ersten Mal im Jahr Schreine besuchten und sich ausschließend mit Verwandten zum gemeinsamen Essen von Osechi und zum Feiern trafen. Diese Bräuche sind heute fast vollständig verschwunden.

Nächstes Treffen :

Samstag, 21. März 2026, 14 bis 16 Uhr Thema : Welche Träume, welche Wünsche

3月の企画委員会のお知らせ

3月の委員会は定例通り開催いたしますので、是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時： 2026年3月14日(土)15:00～17:00

場 所： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部会議室

話 題： 2026年4月までの事業計画について、今後の企画委員会の運営について
ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

会報ボランティア

次回の印刷・封入・発送は、3月26日(木)を予定しています。

印刷・封入・発送とも11時より神戸日独協会にて行います(13時頃終了予定)。

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください(078-230-8150)。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。



ホームページ
Homepage



インスタグラム
Instagram



X
Twitter

イベントスケジュール

日 時	催 し	会 場	申込〆切
3月7日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
3月13日(金) 18:30~20:30	シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン 独日協会会長歓迎会	ロイン 三宮店	3月11日
3月14日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
3月21日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
3月22日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	3月19日
3月29日(日) 12:00~19:00	「早春の遠足」 兼「ワインアーベント」	龍野市内 Café Berlin	3月27日

